

頑張ってます！農業！！

楽しむことが一番

4月17日、牧幸治さん（牧）が茶摘み作業に精を出していました。

早朝から作業をしていた牧さん。専用の摘み取り機を器用に操作し、新茶の葉を摘み取っていました。

3町歩余りの茶畑で40年近く茶農家を続けている牧さんは「今年は量が少ない。でも手をかけただけ愛着がある。儲からなくても楽しんで仕事を続けたい」と笑顔を見せました。

「設備が機械化し苦難が続く」と話す牧さんですが、時代にあわせた品種を生産し続けています。



↑赤土の中からゴロゴロと顔を出すバレイシヨと農機具を操る橋口さん（囲み写真）

バレイシヨ収穫大忙し

4月、伊唐地区などを皮切りに町内のバレイシヨ畑で、春バレイシヨの収穫が始まりました。

伊唐地区に畑を持つ橋口英二さん（山中）は朝早くから、バレイシヨの葉と茎を抜き取る専用の農機具を使い作業していました。

橋口さんは「今年はサイズ、量ともにまああの出来。あとは値段かな」と話し、汗をぬぐいました。

昨年、一昨年と連続で安値が続いているバレイシヨ単価。単価上昇へ農家の期待は高まります。



↑専用の機械を操りお茶を摘み取る牧さん